

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成29年 2月 3日 (金) 13:00～

場所 白石市防災センター 2階 会議室

1. 白石市歴史文化アドバイザーの委嘱について
2. 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致
及び記念事業について
3. その他

「白石市歴史文化アドバイザー」の委嘱について

担当：教育委員会生涯学習課

白石市の歴史文化を広く紹介し、本市の地域振興を図るため新たに要綱を制定した。アドバイザーには、文化財、伝統文化といった歴史文化に関する専門知識を有している方で、本市に係わる活動を積極的に行っている方に委嘱するものである。

この度、2名の方に委嘱状を交付し、本市の歴史文化に関する情報発信と普及啓発に取り組んでいただくとともに、歴史文化を次世代へ継承していくための活動や保存研究活動に対する助言なども行っていただく。

【白石市歴史文化アドバイザー プロフィール】

※敬称略・順不同

●荒武 賢一朗（あらたけ けんいちろう）

生年月日：

住所：仙台市

（経歴）

関西大学大学院文学研究科博士後期課程修了博士（文学）。大阪樟蔭女子大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員 PD、関西大学文化交渉学教育研究拠点 COE 助教、2012年4月より東北大学東北アジア研究センター准教授。平成25年より「渡辺家文書調査研究会」として白石市渡辺家文書の目録作成と内容把握を進め、その内容の一部を白石市教育委員会と平成28年2月に報告書として刊行。現在も調査研究中である。

●麻生 菜穂美（あそう なほみ）

生年月日：

住所：白石市

（経歴）

津田塾大学国際関係学科卒。国際企業を経て、1997年には長野オリンピックの調整役としてスイス・ローザンヌの国際オリンピック委員会（IOC）に勤務。IT 企業を経て2002年に拠点を白石に移し舞踊活動を再開。碧水園にて子ども日本舞踊講座を開き、指導の合間に英会話を取り入れる等、真の国際人養成を目指す。平成16年8月1日より白石市教育委員会社会教育委員を務める。平成18年より白石市内すべての小学4年生を対象に伝統芸能体験講座を毎年開催し、郷土に誇りを持てる子ども達の育成に尽力している。文化、教育、国際関係等に関する講演多数。東北大学、石巻専修大学などでも講師を務めている。直派若柳流理事、白石市文化協会副会長、白石市伝統芸能振興会副会長。国際ロータリー 2520 地区青少年交換長期委員長。

白石市歴史文化アドバイザー設置要綱

(設置)

第1条 市の歴史文化を広く紹介し、市の地域振興を図るため、白石市歴史文化アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を設置する。

(委嘱)

第2条 アドバイザーは、市の歴史文化に係る活動に積極的な者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者のうちから選定し、本人の同意を得て市長が委嘱する。

- (1) 市の文化財に関する専門的知識等を有している者
- (2) 市の伝統文化に関する専門的知識等を有している者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

(活動内容)

第3条 アドバイザーは、次に掲げる活動を行うものとする。

- (1) 市の歴史文化の情報発信及び普及啓発
- (2) 市の歴史文化の継承並びに保存研究活動に対する助言及び提言
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める活動

(任期)

第4条 アドバイザーの任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 市長は、前項の規定にかかわらず、特別な事由があるときは、アドバイザーを解任することができる。

(報酬等)

第5条 アドバイザーに対する報酬は、支給しない。

2 市長は、アドバイザーの任務遂行のため、次に掲げるものを提供することができる。

- (1) 市の歴史文化に関する情報紙及び資料
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認めたもの

(事務局)

第6条 アドバイザーに関する事務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、アドバイザーに関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成29年2月1日から施行する。

「2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致 及び記念事業について」

担当：総務部企画情報課

当市では柴田町・仙台大学と昨年3月に「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」を設立し、2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿招致活動を推進してまいりましたが、この度ベラルーシ体操協会より、新体操ナショナルチームの事前合宿について公文書で実施の意向が示されました。

公文書では2017年に選手5名、2018年～2020年に選手各12名が事前合宿を行う予定となっています。

2017年については白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)が開館20周年を迎えることから、記念事業としてベラルーシ新体操ナショナルチームの協力で演技披露やホワイトキューブ新体操教室との交流事業を行う予定です。

尚、記念事業についてはイオンカップ世界新体操クラブ選手権大会【9月29日(金)～10月1日(日)】終了後の日程でホワイトキューブを会場に開催する予定です。

当市では新体操ナショナルチームの事前合宿を契機として新体操を通じて世界的にもレベルの高いベラルーシ共和国との市民による国際交流を促進し、交流人口の拡大や地域活性化、人材育成を図りたいと考えています。

【資料①】

2020東京オリンピックにおけるベラルーシ新体操ナショナルチームの 事前合宿招致について（経過報告）

平成29年1月31日現在

- 平成28年3月23日
白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会設立総会開催。
- 平成28年6月2日
日本体操連盟を訪問し協力依頼。
白石市長、宮城県体操協会理事長石川信雄氏、白石市新体操協会会長日下イサヲ氏、事務局で訪問
- 平成28年8月より順次
協議会ロゴマークの制作、公式ホームページ・PR動画の制作及び公開、ポスター・パンフレット（英語・フランス語・ロシア語・繁体字）の制作及び配付等により事前合宿招致活動を実施。
- 平成28年9月7日、8日
白石市新体操協会会長日下イサヲ氏や関係者からベラルーシを対象にした事前合宿招致のアドバイスを受けたことから、東京体育館で開催された「イオンカップ2016」※に参加。ベラルーシ新体操ヘッドコーチレパルスカヤ氏に東京オリンピック事前合宿を提案。
※「イオンカップ世界新体操クラブ選手権」は「クラブ世界チャンピオン」を決定する大会で「世界選手権」「ヨーロッパ選手権」と並び世界三大会のひとつ。
- 平成28年10月17日、18日
ヒルトン東京お台場で開催されたFIG（国際体操連盟）各国誘致説明会※に参加。ベラルーシ体操協会会長エレナ・スクリペリ氏、ベラルーシ新体操ヘッドコーチレパルスカヤ氏に事前合宿について提案。新体操指導者として仙台大学に長期滞在経験のあるマリア・マカロワ氏（ベラルーシ共和国国立体育・スポーツ学院教員）、麻生菜穂美氏にもご協力頂き、事前合宿招致活動を実施。
※FIG総会は2年に1回開催され、平成28年10月に東京での開催となった。総会開催中に事前合宿の招致を目的とした各国誘致説明会が開催された。

- 平成28年10月26日
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣あて対象国をベラルーシ共和国としてホストタウン登録申請。現在継続審査となっている。
- 平成28年11月9日
ベラルーシ新体操ヘッドコーチレパルスカヤ氏あてに白石市長、柴田町長から事前合宿に関する親書を送付
- 平成29年1月
ベラルーシ体操協会会長エレナ・スクリペリ氏より事前合宿について実施したい旨の公文書が12月15日付けで送付（別紙参照）。
- 平成29年2月21日～24日（予定）
会長である朴澤理事長、仙台大学職員、白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会事務局でベラルーシ共和国を訪問する予定。ベラルーシ体操協会、ベラルーシ共和国国立体育・スポーツ学院など関係機関を訪問。

■記者会見資料

2017.2.3

白石市と仙南信用金庫との包括連携に関する協定締結式について

白石市と仙南信用金庫はこの度、地域の活性化及び住民サービスの向上に向けて、相互の連携を強化することを目的として、包括連携協定を締結します。

つきましては、下記のとおり締結式を開催いたしますので、取材につきましてご配慮いただきたく、よろしくお願いいたします。

記

○日時・場所

平成29年2月6日（月）16：00～

白石市役所 本庁舎3階応接室（白石市大手町1番1号）

○連携協定締結者

白石市長 山田 裕一

仙南信用金庫理事長 渡邊 大助

○包括連携の内容

- (1) 人口減少対策・地域経済活性化に関すること
- (2) 地域製品の販売及び観光の振興に関すること
- (3) 災害対策に関すること
- (4) 地域及び暮らしの安全・安心に関すること
- (5) その他地域社会の活性化及び住民サービスの向上に関すること

○ご参考

白石市と地域活性化に関する連携協定を締結している東北財務局主催の「金融フォーラム」等における議論を契機に、両者が今まで以上に連携して地方創生・地域活性化に取り組むこととしたものです。今後、仙南信用金庫と移住者向け優遇住宅ローンや農産物の販路開拓に向けた支援等を始め、具体的な取り組みを行っていききたい考えです。

問い合わせ先

白石市総務部地方創生対策室 TEL 0224-22-1561

仙南信用金庫総合企画部 TEL 0224-24-3076

記者会見資料

29.2.3 (金)

■災害発生時の対応と平常時における高齢者等見守り活動の相互協力及び道路損傷等発見時の対応に関する協定の締結について

◎これまで市と郵便局とは、災害時の対応や高齢者等の見守り等について、市の各所属毎に協定や覚書等の締結をし、相互の協力体制を構築してきました。

◎今般、白石郵便局より次の5項目すべてを包括した内容で協定を締結し、協定書の1本化を図りたい旨の要請がありました。

(1) 災害時対応

- ・緊急車両としての車両の提供
- ・円滑な郵便物配達のための相互協力（避難所へ避難した市民の同意を得たうえで作成した避難者リスト等の相互提供）

(2) 高齢者等の見守り

(3) 道路損傷の情報提供

(4) 水道漏水の情報提供

(5) ※新規 不法投棄及び動物の死骸発見時の情報提供

◎本協定の締結によって、市内の10郵便局及び宮郵便局と新たな協力体制を構築できますことは、きめ細やかな行政サービスの提供や市民の安心・安全につながり、市としても大変心強い限りです。

◎協定の締結式については、平成29年2月13日（月）午後1時30分から白石市防災センターで行いますので、是非、記者クラブの皆様の取材をお願いいたします。